

「イヴの時間」の日英語比較
Comparison of English and Japanese in "Time of Eve"

リディア・マンキンス
Lydia Mankins

82-373 Structure of the Japanese Language

1. はじめに

このプロジェクトで、SFアニメ英語の「イヴの時間」の日本語のシナリオと英語のサブタイトルを比較するつもりだ。

「イヴの時間」で人間と人間にそっくり「アンドロイド」というロボットが話し合う。映画のキャラクターは人間の相手とアンドロイドの相手の扱い方が違って、その扱い方が日本語と英語で別の方法で示されている。

2. 日英語比較

2. 1. 日英語比較 1

「迎えに来たよ、これ。」 vs. "This thing came to pick me up."

「これ」をつけないと話してが相手を物として扱っている事が分からない。英語では「this thing」を使わなくても「it」等の代名詞が必要なのでまだ分かる。

2. 2. 日英語比較 2

「ルール違反は皆んな困るの！」 vs. "Rule violations cause trouble for everyone!"

日本語の方が周りの人への影響を中心にする。

英語の方は人格化を使って「rule violations」が主語になっている。

2. 3. 日英語比較 3

「見せ場をちょっと取られただけじゃねえか。」 vs. "It just stole a bit of the limelight."

英語で「it」が必要なのですぐアンドロイドについて話している事が分かる。

2. 4. 日英語比較 4

「お父様は仕事場に宿泊されています。お母様は私のふき時刻より早くお出かけになりました。」 vs. "Father has taken up residence at his place of work. Mother went out before my activation."

日本語で敬語、そして「お父様」「お母様」の使いで（アンドロイドの）話し手が人間の家族より低いステータスを持っている事が分かる。

2. 5. 日英語比較 5

「勝手に寄り道してた…。」 vs. "It made a detour on its own."

日本語と英語の時間的見通しが違って、日本語の方で一回だけの寄り道じゃなくてよく寄り道をしていたかもしれない事が分かる。

3. おわりに

日本語と英語が両方人間とアンドロイドを区別するが、区別する方法が違う。英語が代名詞の「it」「she」「he」で区別する。日本語は敬語等の自分と周りの人の地位を示す言葉で区別する。

日本の文化で地位等がとても大事なので人間とアンドロイドの地位の差が話でよく示されている。西洋の文化では地位があまり使う言葉だけで分からないが、ある人の「人間か、アンドロイドか」というアトロビュートが大事で、その人について話している時に示さない事ができない。

データ出典

「イヴの時間」. Dir. 吉浦康裕. スタジオ六花, 2010年. 映画.